

今回も元気な活動を大追跡！
田中やすのりおっかけ放送局

田中やすのり 区議会レポート

www.tanaka-yasunori.jp

Vol.4



↑ 昨年に引き続き板橋区議会の壇上での一般質問の機会を頂きました。気を引き締めて22～23分の質問時間で田中やすのりから区政へ要望を行い、改善点を指摘。



9/29
ON LIVE

**第三定例議会において
区長に一般質問を行う！**
板橋区役所/本会議

今年の夏に頻繁に起こった「ゲリラ豪雨対策」についての質問を皮切りに、「景観・町並みづくり」などについての要望や課題点を区長に問いかけました！！

平成20年度第3回定例議会の本会議において民主党会派からの一般質問を行いました。昨年からの数えて今回の一般質問で3回目となりました。

今回は大きく次の4項目について区長に質問を投げかけ、答弁を受けました。質問項目は、「都市型の水害対策について」、「景観・町並みづくりについて」、「自主財源確保のための広告事業について」、「成増周辺の地域課題について」でありました。

私からの景観条例の制定を求める質問や広告事業の拡充策を提言した質問などに対して、いくつかは前向きな区長答弁も引き出すことができました。区政を劇的に大きく変革することと日々格闘しているところではありますが、今後もこうした一般質問や委員会での質問・審議を通じて、区政を少しずつでも確実に動かしていきたいと思っています。

※田中やすのりからの質問と区長答弁のダイジェストは次ページをご覧ください。

行政視察

企画総務委員会で鈴鹿・名古屋市を視察！

The inspection of Suzuka city and Nagaya city

「新庁舎建て替え」と「住民税のコンビニ徴収」の先進事例を視察！

企画総務委員会の行政視察で鈴鹿市と名古屋市を訪れました。



鈴鹿市では新庁舎の建て替えに関して、環境への配慮など熟慮した点を聴取。板橋区でも区役所の南館が建て替え予定になっており、環境への配慮や利用者の利便性を向上させる設計など得られた知見が多くありました。また名古屋市のコンビニ収納の施策についても早急に板橋区に反映していきます。

ボランティア活動

「0からの風」の自主上映会を実施！

The film festival in Narimasu act hall

生命のミニメッセージ展も同時に開催！命の大切さを訴える！

この映画は飲酒運転という交通犯罪によって不幸にも



息子の命が奪われた遺族を描いたドキュメンタリー。飲酒運転による犯罪撲滅への願いとともに、命の大切さを真っ向勝負で伝える作品です。この日のために成増地域の若手が有志で実行委員会を立ち上げ、約1年間かけて準備してきました。映画を見た方からも大きな反響があり、充実した上映会となりました。

一般質問

2008年
第3定例議会

ダイジェスト①

質問①

都市型水害対策について

Q 現在の集中豪雨対策は一時間あたり50mmの雨量への対応しかできていない。至急75mm、100mmの雨量へも対策を進めるべき。東京都への強化策を求めるべきである。

A 板橋区としても、浸水被害の軽減に向けた取り組みを行っていく。また、東京都の関連機関に対策を要望していきます。

<田中やすのりの所感>



東京都の対策が強化されることになりました。また、板橋区としても東京都との連携のもと対策の強化が大いに期待できます。

Q 雨水タンクの設置の促進を大規模な建物だけでなく小中規模な個人集合住宅などへも拡充するべき。個人住宅などが建つ場合、建設業者から設置の紹介が行われ、設置普及が進むように連携を強化するべきと考える。

A (今まで以上の)雨水タンクの設置促進については、今後の検討課題とさせていただきます。建設業者と緊密に連携をとりながら、設置を推進していきたい。

<田中やすのりの所感>



現在の区は500㎡を超える土地に建物を建てる場合に、雨水慮流施設の設置指導をしています。私は小規模集合住宅などへの指導を拡充するべきと考えます。今後も引き続き提言していきます。

Q 携帯電話などを活用した集中豪雨に対する予防の情報提供を行うべきではないか？

A 今後、携帯電話を活用した防災情報メールの配信の導入を考えていきたい。

<田中やすのりの所感>



前向きで積極的な答弁でした。ぜひいち早い導入を目指していただきたい。

質問②

景観・町並みづくりについて

Q 景観条例制定に向けて確実に進めて頂きたい。ある程度の私権の制限は結果的に財産価値を高めるものとする。

A 景観条例については、景観計画策定と併行して策定を進めていく。

<田中やすのりの所感>



景観は住民の誇りや愛着につながる大切な要素です。しっかりと条例制定へと進むように見守っていきます。

Q 景観づくりに併せて、板橋らしさをもっと発信するべき。板橋らしさの核を作るべきではないか？

A 板橋らしさを明確に打ち出していきたい。また、観光資源としても活用できるようにしていきたい。

<田中やすのりの所感>



まだまだ計画策定段階であり、どのように板橋らしさを発信するかは未定である。